

## モンタナ州立大学ビルングス校冬期英語研修 報告書

文学部 英語英米文学科 2年 桑原 真央

本研修は2月14日から3月14日までの約1か月間、Montana State University Billings で実施された語学・文化研修でした。私がこの研修に参加した目的として、現地での生活を通して、語学力の向上と異文化への理解を深めることです。

月曜日から木曜日には4技能に関する英語の授業を受講しました。授業内容自体は比較的基礎的で理解しやすいものでしたが、その中で実用的な英語の使い方を学ぶことができました。特にリエゾンなど、より自然でネイティブに近い発音の仕方に触れる機会が多くありました。また、synonym (異音同義語) を学ぶことで状況に応じて適切な言葉を選ぶ力を身に付けることができました。さらに、MSUBの授業に参加する機会があり、現地の学生と同じ環境で授業を受けました。金曜日はアクティビティが準備されており、異文化を学んだり実際に体験したりする機会が多くありました。中でもハートマウンテンを訪れ、日系アメリカ人収容所について学んだ経験が最も印象に残っています。この経験を通して、歴史的背景や差別の問題について理解を深めるとともに、異文化理解の重要性を改めて実感しました。



金曜日の午後から日曜日にかけてはホストファミリーと過ごしました。自分の考えをうまく伝えることにとっても難しさを感じました。また、相手の話すスピードに慣れず聞き取ることに苦勞しました。しかし積極的に聞き返したり話しかけたりすることでコミュニケーションを取り、いい関係を築けたと思います。



また、会話の中で日本のこと、熊本のこと、そして自分自身のことについての質問が多く、自分についてたくさん考えることができました。

今回の研修を通して、語学力だけでなく異なる文化や価値観を理解しようとする姿勢の大切さを学びました。特に自分の意見を積極的に伝えることの重要性を実感しました。また、自分の英語力にはまだ課題があることも明確になりました。この研修で得た経験を今後の学習や将来に活かしながら異なる文化を持つ人々とも積極的にかかわっていきたいです。そして、国際的な視野を持ちつづけながら、自分自身の成長につなげていきたいと思っています。